

平和をつなぐ

—いま、自治体が果たす役割—

主催：敬愛大学総合地域研究所

2022年、国際社会ではロシアのウクライナ侵攻や東アジアでの軍事的緊張が見られており、第二次世界大戦後、人々の恒久平和への思いを改めてつなぎとめる必要が生じている。本シンポジウムでは、国レベルで分断された国際社会のなかで生きる私たちが、どのように平和への思いを世界のなかでつなぎとめ、次世代につないでいくのか、自治体の活動に注目して検討する。

プログラム

開会あいさつ 13:00~13:05

敬愛大学 総合地域研究所長 水口 章 国際学部教授

開催にあたり 13:05~13:15

「戦争と私たちの暮らし」

高田 洋子氏 敬愛大学国際学部特任教授

第1部 基調報告 13:15~14:10

「世界恒久平和の実現を目指す 平和首長会議の取組」

小泉 崇氏 公益財団法人広島平和文化センター理事長、平和首長会議事務総長

「日本の自治体の平和への取り組み —自治体外交の意義—」

武藤 博己氏 法政大学名誉教授、公益財団法人地方自治総合研究所理事

第1部 質疑応答

14:10~14:20 休憩

第2部 「暮らしの中で平和をつなぐ」 14:20~15:55

①千葉県知事 熊谷俊人氏からのビデオメッセージ

②自治体の取り組み事例紹介

千葉市市民局市民自治推進部市民総務課

浦安市市民経済部地域振興課

佐倉市企画政策部広報課

③視聴者を交えた意見交換

閉会あいさつ 15:55~16:00

中山 幸夫氏 敬愛大学学長

開催日時

参加
無料

2022年 12月9日(金)
13:00~16:00

Zoomにて開催

申込方法

参加ご希望の方は、以下のURLよりお申し込みください。

URL <https://forms.gle/WHrWi1eJM8Pa5ST46>

右のQRコードからも申し込みが可能です。



申込締切日

2022年12月5日(月)

当日の詳しい視聴方法は、申込者にのみ12月7日(水)ごろにメールでお知らせします。

4年間の学びを、力に変える大学。
敬愛大学
未来へ、君へ。 <https://www.u-keiai.ac.jp/>



お問い合わせ

敬愛大学 大学運営室
E-mail daigaku-unei@u-keiai.ac.jp
TEL 043-251-6363



第1部の登壇者紹介



開催にあたり

「戦争と私たちの暮らし」

たかだ ようこ
高田 洋子氏 敬愛大学国際学部特任教授・名誉教授

長崎市生まれ。津田塾大学学芸学部国際関係学科卒業、同大学大学院博士課程修了。国際関係学博士。同大学国際関係研究所研究員を経て、1990年千葉敬愛短期大学国際教養科講師、助教授、敬愛大学国際学部教授、JVC (NPO法人日本国際ボランティアセンター) 執行委員、京都大学東南アジア地域研究研究所学外研究協力者、東南アジア学会監事などを歴任。専門は、国際関係史(フランス・ベトナム関係)、ベトナム近代経済史研究

基調報告1

「平和首長会議の果たす役割」

こいずみ たかし
小泉 崇氏 公益財団法人広島平和文化センター理事長、平和首長会議事務総長

東京教育大学卒業。外務省入省。在米国日本大使館一等書記官、経済協力局民間援助支援室首席事務官、在東ティモール日本大使館参事官、国際協力局国際緊急援助室長、大臣官房地方連携推進室長、ブルガリア共和国駐劄日本国特命全権大使などを歴任。

基調報告2

「自治体外交の意義」

むとう ひろみ
武藤 博己氏 法政大学名誉教授、公益財団法人地方自治総合研究所理事

法政大学法学部政治学科卒業、国際基督教大学大学院行政学研究科博士後期課程修了。学術博士(Ph.D.)。国際基督教大学社会科学科助手、(財)行政管理研究センター研究員、法政大学法学部政治学科教授、同大学大学院政策創造研究科教授、同大学大学院公共政策研究科教授、(公財)地方自治総合研究所所長などを歴任。専門は、行政学、地方自治、政策研究

平和首長会議とは

1982年、ニューヨークの国連本部で開催された第2回国連軍縮特別総会において、荒木武・広島市長(当時)が、核兵器廃絶に向けて世界の都市が連帯する計画を提唱したことにより設立され、この趣旨に賛同する都市(自治体)で構成される超党派の国際NGO組織です。1991年には、国連経済社会理事会のNGOに登録されました。2022年11月1日現在、世界166か国・地域の8,222都市(うち日本は1,737都市)が加盟しています。